

芸亭

うん てい

vol.14



特別公演 奈良豆比古神社「翁舞」(2021年10月17日〔日〕)より

ウクライナの図書館 — ハイブリッド戦のはざままで — 奈良県立図書情報館館長 千田 稔

連日のロシアのウクライナ侵攻の報道がなされつつある時、ウクライナの図書館の置かれている状況については、知らされないままだった。ただ、我が国の国立国会図書館のカレントアウェアネス・ポータルは、ウクライナの図書館についての情報をとり上げている。ロシアの侵攻がなされたのは、2月24日のこととして、私たちは日本のメディアで知るのであるが、その前日、ウクライナ図書館協会理事長からウクライナの図書館界へ送った書簡がアップされている(原文ウクライナ語)。

「私たちは、偽物、偽情報、サイバー脅威との戦いの最前線にいます。……図書館員は、人々、地域社会、社会が真実の情報と虚偽の情報を区別し、情報操作や心理操作に抵抗できるようにするために活動しています。」

日本にいと、さほど切実に感じない偽情報に神経をとがらせている。情報戦略が、ロシアのウクライナ侵攻を見極める最も本質的な深層であることをあらためて、知った。

「図書館は、ロシアが長年にわたって繰り広げてきたハイブリッド戦争における国家の戦略的な武器なのだ！」ハイブリッド戦争とは、正規軍のみならず、非正規軍、無差別テロ、サイバー攻撃、情報かく乱など、多様な手法を複合的に用いる戦争である。ウクライナにとっては、情報操作などによるハイブリッド戦が展開されることは、8年前のクリミア侵攻によって、予想されたことであった。図書館もその防壁としての任にあると、ロシアの侵攻と間髪を入れずに宣言している。

この稿が刷り上がったとき、ウクライナは、どのようになっているだろうか。

題字：天理大学附属天理図書館蔵「石上宅嗣卿顕彰碑」より

Contents

巻頭言 ウクライナの図書館	1
「図書館はどこにある？」—SNS とリアルで 拡張する図書館情報館	2~7
館設備のリニューアル	8
2021 年度のイベントと 展示	9~12
『奈良史料叢書 七 庁中漫録 一七~二一』の 発行	12

図書館と SNS — 司書の情報発信ツールとしての SNS

当館が扱うのは図書、雑誌、新聞、公文書などの紙の資料です。それゆえ、自宅にいながら様々な情報にアクセスできる現代において、「来館しなければ利用できない」という物理的な制約を受けてきました。その意味で、2021 年度は私たち図書館員にとって、試行錯誤の一年でした。

新型コロナウイルス終息の目途も立たず移動に制限がかかる中、いかにして情報を発信していくか。舞台となったのが SNS です。当館は現在、note、Twitter、facebook、Instagram、YouTube の 5 つを情報発信のツールとして活用しており、中でも自由度の高い note を核として、手探りで発信をしてきました。まだまだいろいろなことが出来る、という可能性を感じます。図書館情報館を知っている人にも知らない人にも、広く届くようなコンテンツを作っていきたいと思えます。

以下に 2021 年度の SNS 活用事例をご紹介します。このほかにも、大阪フィルハーモニー交響楽団 木管五重奏コンサート、文学と音楽のコラボレーションコンサート「大島真寿美『ピエタ』とヴィヴァルディの世界」についても note で取り上げていますので、是非ご覧ください。

各 SNS の QR コード



note



Twitter



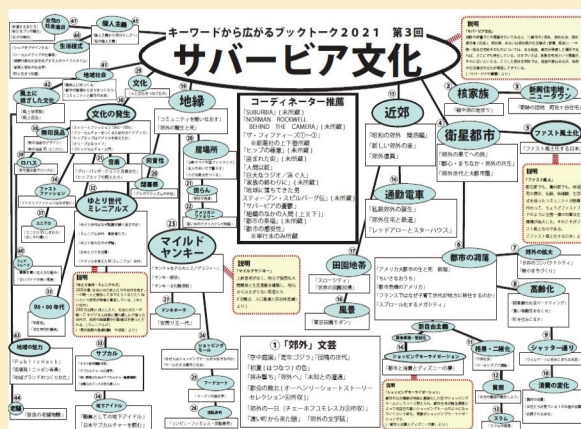
facebook



Instagram

キーワードから広がるブックトーク 2021

誠光社店主の堀部篤史さんをコーディネーターにお迎えし、全 5 回のブックトークを開催しました。従来、こうしたイベントは当日参加した方だけに楽しんでいただくものでしたが、今回はイベントを動画撮影し、トークの概要と共に note にアップしました。これにより、多くの方に実際の様子を見ていただけるようになりました。



また、ブックリストにも力を入れました。各回のキーワードから図書館員が連想を行い、浮かんだワードとそれに関連する本を、連想図として表現したのです。今後も前例にとらわれず、より多くの人に楽しんでいただけるような方法を模索していきたいと思えます。

動画

ブックトークの様子を、一部こちらからご視聴いただけます。



100 冊ギフト

クリスマス、お正月など、贈り物を目にする機会が多い年末年始の時期にあわせ、「100 冊ギフト」の展示を行いました。

図書館員が 2021 年に読んだ本の中から、「贈りたい」と思った 99 冊を、印象に残った一節とともに紹介し、100 冊目をみなさんから募る、という企画です。多くの方に借りていただき、一時は 3 割ほどしか本が残っていないことも。普段は手に取らない本を読んでもみるきっかけになったなら幸いです。

そして今回の展示では、館内だけではなく、SNS 上でも募集し、あわせて約 30 冊の応募をいただきました。SNS を通じて、図書館も世界と繋がっていることを実感した展示となりました。これからも、図書館の「そと」にも出て行くような企画を考えていきます。



(藤本 明希子・松田 志織)

公文書館 × SNS ～メディアプラットフォームとして

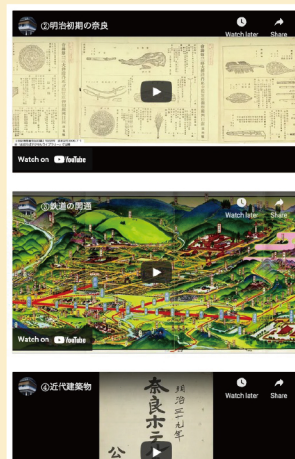
奈良県の公文書館でもある当館は、歴史資料として重要な公文書や古文書、絵図など約7万5千点を所蔵し、そのうち約1割はデジタル画像を当館のウェブサイト「まほろばデジタルライブラリー」で公開しています。

また、近年は SNS (note・Twitter・facebook・Instagram・YouTube) も活用していますので、今年度実施した事例をご紹介します。

地域資料 × web 展示

2021年2月20日～4月29日に開催した資料展示「観光地・奈良の姿―明治・大正・昭和初期編―」では、当館の公文書館機能をより多くの方に知っていただくため、「観光」をテーマに所蔵する公文書や絵図などの歴史資料を紹介しました。

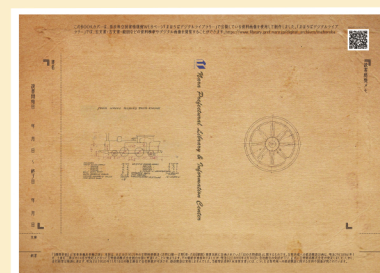
そして終了後、期間中観覧できなかった方に（観覧した方にはあらためて）楽しんでいただけるよう、展示資料と12枚のパネルおよび観光絵はがきを使って6編の動画を制作し、noteで公開しました。このようなweb展示であれば、期間限定の資料展示と違い、いつでも観覧を体験していただけます。



note 内の動画リンク

地域資料 × フリーダウンロード・データの公開

「まほろばデジタルライブラリー」で公開している画像データのPRのとして、フリーダウンロードできるオリジナルBOOKカバーを制作し、noteで公開しました。絵柄は、奈良を代表する近世の地誌、地域の行事や時代性を反映した近代初頭の絵図、同じく近代において幻となった鉄道路線ゆかりの図面からセレクトした3種類で、文庫・新書サイズに対応しています。使用方法の紹介動画も同じnoteコンテンツ内にアップしていますので、ぜひご利用ください。



機関車図と車輪図を使ったBOOKカバー

資料展示 × SNS

これまで資料展示で SNS を活用する際は告知を主な目的としていましたが、2022年2月に開催した資料展示「奈良の夜明けあと」では、Twitter で同じテーマによる情報発信も併行して実施しました。

このテーマは、かつて作家・星新一が明治日本の世相・風俗・ゴシップなどの新聞記事から近代化の流れをたどった編年史『夜明けあと』にならい、明治の奈良のニュースを収集し、『奈良版・夜明けあと』として関連資料を紹介するものです。

Twitter「#奈良の夜明けあと」では、当時の新聞を中心に奈良のニュースを時系列に取り上げてツイートし、できるだけ関連資料の画像も投稿しました。画像はニュースの裏付けとなる公文書や絵図などで、所蔵資料だけでなく、パブリックドメインとしてウェブ公開されているデジタルアーカイブも活用しました。約2か月間でツイート数は200を超え、いまでもハッシュタグで一瞥すれば明治の奈良の変化を伺い知ることができます。また投稿した画像も100以上となり、リアルの展示ではできないスケールで、公文書館ならではの資料紹介ができたと考えています。

加えて今回はイメージ動画も制作し、noteのコンテンツに埋め込んで公開しました。さらに本コンテンツでは、Twitterで発信している情報の多くが誰でも収集できることを種明かしの紹介しましたので、全国各地の「夜明けあと」をたどってもらえればと思います。



ツイートの一例

奈良県のあたらしい「本屋さん」

奈良県内にある4つの「本屋さん」(※)にご協力いただき、インタビューをまとめたパネルとおすすめ本を紹介文とともに展示しました。取り上げたのは、地域密着型の書店「とほん」(大和郡山市)、無人書店「ふうせんかずら」(奈良市)、協働運営書店「cojica books」(奈良市)、私設図書館「ルチャ・リブロ」(東吉野村)です。図書館員4人が当館を飛び出してインタビュー取材を行い、イベントや出版など従来の「本屋さん」の枠に収まらない「あたらしい」活動とその魅力を記事にまとめました。

展示では、広く「本屋さん」について知り、リアルな場所で本と出会うということを考えられるような資料も一緒に並べました。ある「本屋さん」から会期中に「図書情報館の展示を見て来ました、とって訪れてくださったお客様がいた」との嬉しいお知らせがあり、この展示を通して、当館が「本屋さん」と人をつなげ、それにより人が本と出会う機会を増やすことができたのではと考えています。

(※ 広く本を提供する場所を「本屋さん」とするブックコーディネーター・内沼晋太

郎氏の定義を拝借しました。『これからの本屋読本』内沼晋太郎著 NHK 出版 2018年5月発行)



(加藤 由美)

今を知る図書館に

2021年7月から、今年ならではの、あるいは今を読み解く展示を、館内のあちこちで実施しています。

過去にも行っていた文学賞の受賞記念や追悼、作家の生誕や没後の周年にあわせた展示はもちろん、今起きていることをテーマにし、たとえば東京オリンピックで話題になったピクトグラムや若者に向けた衆議院議員選挙の投票、噴火による大きな被害が出たトンガ、ロシアによるウクライナ侵攻といったトピックに関する展示を開催しました。

月に何度か来館される方でも、常に新しい展示を見ていただけるよう、展示期間は2~3週間に設定しています。今後も、皆さまに関心を持っていただける展示を目指してまいりますので、来館の際は館内をぐるりとひと巡りしていただけたらと思います。

(辰巳 理紗)



「図書館の読者で作る時代小説目録 読んでみて候」

今までも図書館員から皆さまへ様々な本を紹介してきましたが、今回は「読者から読者へ」というコンセプトで、利用者の皆さまから紹介いただいた本だけで目録を作成し、展示を行いました。

館内に備え付けた「紹介カード」と SNS で募集を行ったところ、1 カ月弱という短期間にも関わらず、コメントを添えて色々な本を紹介していただきました。



初めての試みで、紹介本が集まるかと不安でしたが、「こんなにも根強い読者がいるのだから、きっと面白いと思う本を紹介してくれるはず」と考えていたとおりとなったので、企画した甲斐がありました。次回企画も含め、これが読者と読者のつながりとなり、やがて小さなコミュニティへと発展していけばと、夢は広がるばかりです。

(松村 順子)



リアルの変化 — 2階のリニューアルについて

2021年9月27日から10月1日まで臨時休館し、2階のリニューアルを行いました。

主な変更点は4つです。まず、2階の館内パソコン席の場所を変更し、インターネット用端末は2階に、オンラインデータベース利用端末は3階に集約しました。これにより、空いているパソコンを探して2階と3階を歩き回ることなく、一目で確認できるようになりました。なおこれを機に、情報機器専門のスタッフが17時以降も常駐するようにしたので、サポート体制もリニューアル以前より手厚くなっています。



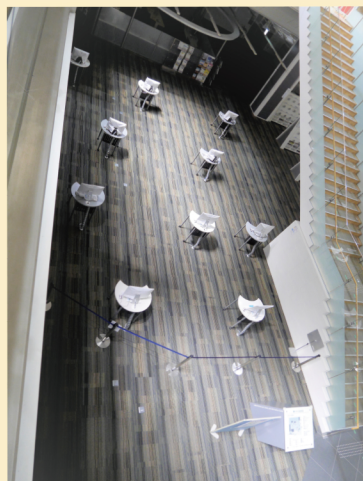
書架移動のため、一時的に段ボールに詰められた本たち



書架移動の様子

2点目は、書架の移動です。以前は雑誌、新聞、情報資料、国際交流資料をそれぞれ離して並べていましたが、一元的に資料を閲覧できるようにしました。また、情報関係の雑誌を情報資料の書架の隣に配置したことで、同じ場所で情報関係の雑誌・図書をまとめて閲覧できるようになりました。

3点目は、マイクロフィルムリーダーの更新と席の移動です。マイクロフィルムリーダーは、以前のものより画面が大きくなり、より高倍率で見ることができるようになりました。また、古い新聞をマイクロフィルムで閲覧していただく場合、以前は新聞架とマイクロフィルム閲覧席が離れていたため、両方を確認したい場合には不便でした。今回の移動により近づけたので、利便性が高まったと思います。



Before

4点目は、吹き抜け中央部分の展示スペース新設です。2021年度から、“その年ならではの”“今を読み解く”というコンセプトでも図書展示を行うようになり、より多くの展示をより目に留まりやすい場所で出来るようになりました。

図書情報館というリアルな場所が、より様々な情報発信を表現できる場所となるよう、今後もアップデートしていきたいと思います。

(山崎 純)



国際交流資料



マイクロフィルムリーダー



After!



2階パソコン席

郵送貸出について

図書館では、「県立」であることの意味をあらためて問い直し、より多くの方に図書館サービスを提供できるよう、来館せずに利用していただけるサービスのあり方を模索していました。そして、新たな試みのひとつとして、令和3(2021)年4月28日から、郵送貸出サービスを開始しました。インターネット、電話、FAX等でお申し込みいただき、1度に5冊まで当館で所蔵している資料を郵送するサービスです(往復送料をご負担いただく必要があります)。開始直後、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館となってしまったこともあり、はからずもさっそく多くの方からお申し込みをいただくことになりました。

6月の再開後も、県内外からお申し込みがあり、2月末までの間にのべ90件以上発送を行いました。遠方からのご利用もあり、郵送サービスのニーズを実感しています。

実際に書架の間を歩き、本を手に取り選ぶことはもちろん楽しく、便利ですが、感染症やその他の様々な理由でそれができない場合もあるかと思えます。そういった時の選択肢のひとつになるよう、今後もよりよいサービスを検討していきたいと考えています。

(松田 志織)



資料はこのように梱包してお届けします！

利用方法やお申し込みはこちらから↓



「出張！図書館」

「出張！図書館」は、図書館の建物を飛び出して、イベント開催地で図書館を知っていただき、利用していただくという取り組みです。今年度は当館が開催した2つのイベント、「能の源流」と「観世流能『翁』」の際に、奈良春日野国際フォーラム麓に出張し、約75万冊ある蔵書の中からイベントに関連した図書や雑誌を司書が120冊程選んで持ち込み、貸出や利用者登録を行いました。

能楽ホール前に設置した「出張！図書館」では、図書を手に取って読まれる方、本の表紙や写真等をご覧になる方、この機会に利用者登録をされる方、さらに図書を貸出される方がおられました。

イベントから本に興味を持ったり、本を読むことでイベントをより深く楽しめたりするよう

な機会となったのではないのでしょうか。多くの方に「図書館にはこんな本があるのか」と発見してもらうことで、図書館に興味を持ち、利用のきっかけになれば幸いです。

(齊藤 圭一)



館設備のリニューアル



館内照明のLED化

昨年度から、館内照明のLED化を進めています。今年度は、3F 専門資料スペースのダウンライト、ふるさと・戦争体験文庫の書架照明、3F・2F 各個席の照明、各トイレ照明等のLED化を行いました。

公衆無線LANの導入

館独自のWi-Fiを廃止し、公衆無線LANを導入、3月9日から運用を開始しました。Wi-Fi6にも対応しています。同時に、利用が少なくなっている持込PCの有線LAN接続サービスを廃止しました。



交流ホール・セミナールーム AV 設備リニューアル

昨年度につづき、交流ホール、セミナールームのAV設備をリニューアルしました。AVスイッチャーの4Kデジタル化を行い、書画カメラのデジタル化を行いました。さらに、交流ホールについては、入出力ポートを増やし、2台あるプロジェクターの同時利用、独立利用等、多様なニーズに応えられるようにしました。また、交流ホールのロールスクリーンを新しくしました。

エントランスの蜘蛛の巣除去清掃

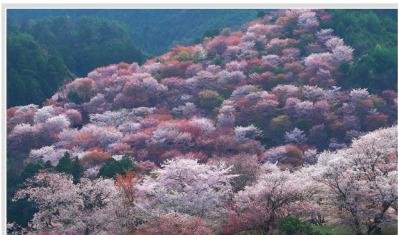
2F、1Fピロティ部の外壁、天井の蜘蛛の巣除去清掃を行いました。また、ピロティの照明をLEDに変更しました。



2021年度の イベント 展示

奈良県立図書情報館
Nara Prefectural Library & Information Center

4月



映像作家 保山耕一

11[木]～29[木] 映像作家 保山耕一 常設上映『映像詩、桜咲く』



3[土] 4[日] さくらマルシェ 図書情報館前を流れる佐保川の、下長慶橋（奈良市蓮町）から奈良市杏町（大和郡山市の境付近）までの区間 4.5 キロの両岸には、ソメイヨシノ約 1000 本の桜並木が続いています。美しい景観と、図書情報館に親しみを持っていただきたいとの思いから 2015 年 4 月より「さくらマルシェ」を開催しています。6 回目となる本イベントも大盛況となりました。

5月

25[日] 図書館劇場 XV 第 5 幕 前年度開催予定で延期した「図書館劇場 XV 第 5 幕」（2021/3/28[日]）の代替回として開催。<プログラム>映像詩 保山耕一（映像作家）、講演①『『日本書紀』その後の読まれ方（その3）津田左右吉の場合』千田稔（当館館長）、朗読 都築由美（フリーアナウンサー）、講演②「レジャーランドと昭和の怪物たち - 奈良ドリームランド、横浜ドリームランド、船橋ヘルスセンター -」内田忠賢（奈良女子大学教授 < 文学部、大学院人間文化総合科学研究科 >、奈良女子大学附属中等教育学校 < 中高一貫 > 校長）

■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/29[木]～5/31[月]まで臨時休館

14[金] 図書館学校 令和 3 年度第 1 期開校記念講座「風景の近・現代史：東京帝都の成立」<登壇>千田稔 図書情報館長 講座形式からライブ配信に変更し開催しました。

千田稔館長公開講座
図書館劇場 XVI

令和 3 年
5/23[日]
13:00～16:00

YouTube
奈良県立図書情報館公式チャンネル
ライブ配信
※視聴方法は本紙裏面をご覧ください
主催：奈良県立図書情報館

23[日] 図書館劇場 XVI 第 1 幕 臨時休館中のためライブ配信を行いました。<プログラム> 映像詩 保山耕一、講演①「聖徳太子の誕生地伝説 厩戸と上宮」千田稔、講演②「少年神」信仰の古今東西—メディアのなかの聖徳太子」佐伯順子（同志社大学社会学部メディア学学科教授）、司会 都築由美

■1[火]から業務再開
■6 月中のイベントは中止または延期

1[火]～29[火] 映像作家 保山耕一 常設上映『ナラノヤエザクラ』

映像作家 保山耕一

ナラノヤエザクラ

上映期間：6/1 [火]～6/29 [火]

7月



奈良県立図書情報館二階東側正面入口・常設上映
2021 年 7 月
初夏の色彩 2021

映像作家 保山耕一



1[木]～29[木] 映像作家 保山耕一 常設上映『初夏の色彩 2021』

25[日] 図書館劇場 XVI 第 2 幕<プログラム> 映像詩 保山耕一、講演①「聖徳太子の原点 上宮（かみつみや）— 論争の流儀—」千田稔、朗読 都築由美、講演②「万葉集」の「上宮聖徳皇子」歌」井上さやか（奈良県立万葉文化館指導研究員）

図書館劇場 XVI

令和 3 年
7/25[日]
13:00～16:00

奈良県立図書情報館
二階東側正面入口
無料観覧券あり
観覧券の申し込みはこちら

8月

7/31[土]～29[日] 映像作家 保山耕一 常設上映『なら燈花会 2020』

なら燈花会 2020

映像作家 保山耕一

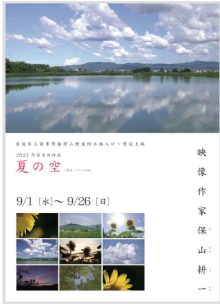
図書館学校 令和 3 年度第 1 期 8～9 月<講師> 国語 I 植村正純、社会 今尾文昭、国語 II 樺原聰、理科 井阪秀高

図書館学校

国語 I 植村正純
社会 今尾文昭
国語 II 樺原聰
理科 井阪秀高

9月

11[水]~26[日] 映像作家 保山耕一 常設上映 『夏の空』



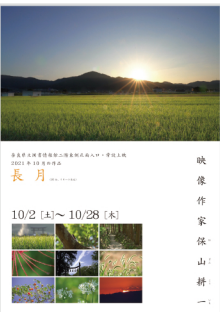
4[土] 図書館寄席 花鹿乃芸亭 第58回 <出演>桂かい枝、桂文鹿、桂雪鹿

26[日] 図書館 劇場 XVI 第3幕 <プログラム> 映像詩 保山耕一、講演 ①「法隆寺再建・非再建論争の論者たち」千田稔、朗読 都築由美、講演②中井精一(同志社女子大学表象文化学部教授)「方言と古代日本語」



10月

21[土]~28[木] 映像作家 保山耕一 常設上映 『長月』



21[土]~17[日] 館所蔵『聖徳太子傳圖會』をよむ/併催『秦氏と申楽』 聖徳太子1400年遠忌記念。当館所蔵の1804年序刊『聖徳太子傳圖會』の挿絵を現代語訳とともにパネルで展示。併せて『秦氏と申楽』では、世阿弥が著書『風姿花伝』に記した「聖徳太子が秦河勝に命じて六十六番の芸能をつくらせた」伝承から「申楽(能楽)の基礎が確立されたのは中世の大和の出来事で、背景には、古代の渡来系民族・秦氏の存在が!？」との説を紹介しました。



21[土] 講演会「災害の記憶—被災を想起する、減災を喚起する—」災害を記憶し伝承することの大切さと難しさについて、主として心理学の観点から矢守克也・京都大学防災研究所、巨大災害研究センター教授が講演。主催：なら・図書館に集う会



17[日] 能の源流 特別公演「奈良豆比古神社『翁舞』」、特別講座「秦氏と申楽 聖徳太子伝承を紐解く」 第一部は「能楽の源流」とされる、奈良豆比古神社(ならびこじんじや・奈良市)の神事「翁舞」(国重要無形民俗文化財)の実演。解説は「東部山間と奈良豆比古神社の翁舞について」と題し奈良県文化財保存課 森本仙介が講演。第二部は世阿弥が『風姿花伝』に記した「聖徳太子が秦河勝に命じて六十六番の芸能をつくらせた」伝承から、奈良盆地中南部の寺川流域の地理と政治的背景について千田稔・図書館情報館長が講演。また、ロビーにて「出張! 図書館情報館」を開催し、ライブ配信も行いました。実施場所: 奈良春日野国際フォーラム 第一ホール 主催: 文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、奈良県立図書館 協力: 翁舞保存会

19[火]~24[日](前期)、26[火]~31[日](後期) 「木の手しごと」 奈良にゆかりある木工作家の作品展。併せて、作家によるワークショップと、本展にちなむ館所蔵図書展示「木を学ぶ、木を楽しむ」を開催しました。



11月

10/30[土]~11/28[日] 映像作家 保山耕一 常設上映 『南都の祈り / 中元万燈籠』



3[水祝] 鼎談 持統天皇を語る <登壇> 瀧浪貞子・京都女子大学名誉教授、小説家・澤田瞳子(第165回直木賞受賞)、千田稔 図書館情報館長。

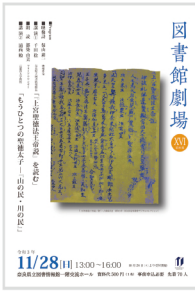


6[土] 図書館寄席 花鹿乃芸亭 第59回 <出演>林家菊丸、桂文鹿、桂白鹿



16[火]~28[日] 企画展 国栖奏 国栖奏保存会の監修により2021年春に上梓された『国栖奏』冊子をパネルで展示。関連企画として「講演会『国栖奏を語る』(20[土])」、展示会場で「ギャラリートーク」(27[土])を開催し、いずれも保存会メンバーが登壇しました。共催: 国栖奏保存会、奈良県立図書館

28日(日) 図書館劇場 XVI 第4幕<プログラム>映像詩 保山耕一、講演①『上宮聖徳法王帝説』を読む 千田稔、朗読 都築由美、講演②『もうひとつの聖徳太子―山の民・川の民』 浦西勉 (元龍谷大学教授)



12月

11(水)~26(日) 映像作家 保山耕一常設上映『五條の秋』



1月

5(水)~27(木) 映像作家 保山耕一常設上映『秋から冬へ』



8日(土) 図書館寄席 花鹿乃芸亭 第60回<出演> 桂米紫、桂文鹿、桂雪鹿



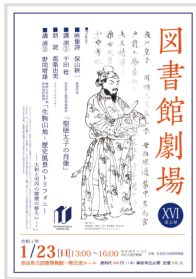
15(土) 2021年度子ども能楽教室 能楽のお囃子「大鼓(おおつづみ)」のお稽古をしてみよう~発表会 プロの能楽師が、囃子の道具「大鼓」の稽古を行う教室。9月から月2回の稽古に励んだ成果を子ども達が発表しました。



18(火)~30(日) 「100年前の空の道『索道』・ロープウェイとケーブルカー」& 写真展「それぞれの視点V」 図書館情報ITサポートズ・メンバーによる企画展。



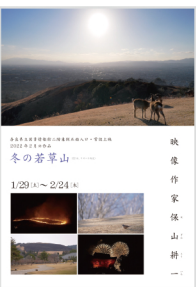
23(日) 図書館劇場 XVI 第5幕<プログラム>映像詩 保山耕一、講演①「聖徳太子の肖像」千田稔、朗読 都築由美、講演②「生駒山地：歴史風景のトリフォニー 一大和と河内の障壁の移ろい」野間晴雄 (関西大学文学部特別契約教授)



29(土) 観世流能「翁」『風姿花伝』の一節「聖徳太子が秦河勝に命じて六十六番の芸能(申楽)をつくらせた」との伝承から能楽の元をなすとされる「翁」を聖徳太子1400年遠忌を記念し開催。あわせて、ロビーにて「出張! 図書館情報館」を開催し、ライブ配信も行いました。出演: シテ方観世流 大槻文蔵 (人間国宝)、小鼓方大倉流十六世宗家 大倉源次郎 (人間国宝) ほか。実施場所: 奈良春日野国際フォーラム 主催: 文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、奈良県立図書館情報館

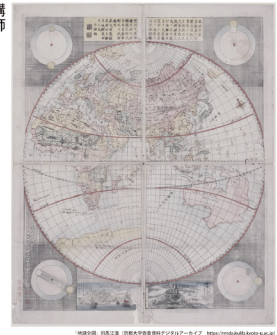
2月

1/29(土)~2/24(木) 映像作家 保山耕一常設上映『冬の若草山』



図書館学校

千田稔 講師
奈良県立図書館情報館長



2022年
2月4日(金) 13:30~15:00 (開場 13:00)
■場所: 奈良県立図書館情報館1階交流ホール
■定員: 100人 (先着順) ■要申込 (申込は要)
■授業料: 500円 (1人、税込、当日) ■主催: 奈良県立図書館情報館

開校記念講座
「世界を知る―江戸時代の地理学者たち―」

4(金) 図書館学校 令和3年度第2期開校記念講座「世界を知る―江戸時代の地理学者たち―」<講師>千田稔 図書館情報館長

図書館学校 令和3年度第2期2~3月<講師>国語I 植村正純、社会 今尾文昭、国語II 櫻原聡、理科 井阪秀高

科目	講師	開講日	時間
国語I	植村正純	2月4日(金)	13:30~15:00
国語II	櫻原聡	2月18日(金)	13:30~15:00
社会	今尾文昭	2月22日(火)	13:30~15:00
理科	井阪秀高	2月25日(金)	13:30~15:00

3月



2/26(土)~3/30(水) 映像作家 保山耕一
2/26(土)~3/30(水) 映像作家 保山耕一常設上映『祈り秋・冬』

5[土] 図書館寄席 花鹿乃芸亭第 61 回 <出演>桂春蝶、桂文鹿、桂白鹿



26[土] 図書館寄席 花鹿乃芸亭第 62 回 <出演>桂吉弥、桂文鹿、桂白鹿 ※延期した「花鹿乃芸亭第 58 回」(2021/7/3) の代替回として開催しました。

図書館劇場 XVI
高松塚古墳発掘 50 周年記念

今期 3/27[日]13:00~16:00 奈良県立図書館一階交流ホール
観客代 500 円(14 歳 管理料込) 券売先 100 人
主催 奈良県立図書館

27[日] 図書館劇場 XVI 第 6 幕 高松塚古墳発掘 50 周年記念<プログラム><映像詩 保山耕一、講演①「高松塚古墳のさまざまな被葬者論」千田稔、朗読 都築由美、講演②「高松塚古墳壁画と粟田真人」東潮 (徳島大学名誉教授)

通年

佐保川まちづくり塾
2021 年度パソコン教室
共催：奈良県立図書館、NPO 法人奈良シニア IT 振興会

法務無料相談会 & 知識セミナー 毎月 1 回開催。相続・遺言など法律相談として興味を集める事例をテーマに知識セミナーを開催。参加 & 相談無料。12 月からは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため長らく中止してきた個別相談会を再開しました。参加無料。

法務無料相談会 & 知識セミナー

2/6 13:30~17:00 (先着 100 名)
参加費 200 円(税込) 会場 奈良県立図書館 1F 交流ホール

第 1 回 全前期の整理とそのやり方と今後
講師：三好 麗香 氏 (行政書士、ファイナンシャルプランナー、相続実務家)

第 2 回 無料相談会
15:00~17:00 (9 名)
参加費 0 円

IT サポートデイ 図書館の IT 機器利用への質問や、パソコンビギナーの操作への疑問に、ボランティアスタッフ「奈良県立図書館 IT サポーター」がお答えする取り組み。参加 & 相談無料。新型コロナウイルス感染拡大防止のため長らく中止してきましたが、2 月に再開しました。

中小企業診断士による体験学習会 & 無料経営相談会
体験学習会では、問題分析や解決の手法などについてレクチャー。2021 年度は 7、11、12、1 月に行いました。12 月以降、個別に行う無料経営相談会を再開しました。参加 & 相談無料。

体験学習会 & 無料経営相談会

13:00~16:00 (9 名) 会場 奈良県立図書館 1F 交流ホール

体験学習会
11/7 17:00~18:00
12/7 12:00~13:00
1/16 13:00~14:00

無料経営相談会
10:30~16:00
12/10(日) 13:00~15:00
令和 4 年 1 月 16(日)

FP (ファイナンシャル・プランナー) によるくらしとお金のセミナー 日本 FP 協会奈良支部が主催。今年度は 10/23[土]、3/19[土]に開催しました。参加無料。

FP (ファイナンシャル・プランナー) によるくらしとお金のセミナー

人生 100 年時代に考える資産のつくり方 9 万円

3月19日(土) 13:30~15:00
会場 奈良県立図書館 1F 交流ホール
参加費 無料 定員 30 名 (先着順)

日本弁理士会近畿支部奈良地区会による知的財産講座 & 無料相談会 産業財産権の取得、著作権、地理的表示の登録申請、知的財産に関する相談に弁理士が対応する無料相談会を 10/9[土]、12/11[土]開催しました。参加 & 相談無料。

知的財産講座 & 無料相談会

12.11 13:30~17:00
会場 奈良県立図書館 1F 交流ホール

知的財産講座
13:30~15:00
講師 藤田 浩二 氏 (知的財産権専門弁理士)

無料相談会
15:00~17:00
参加費 0 円

(文中敬称略)

(伊藤 享子)

『奈良史料叢書七 庁中漫録一七~二一』の発行

本史料集は、「庁中漫録」(玉井家文書)を翻刻したものです。「庁中漫録」とは、奈良奉行所の与力である玉井定時とその子孫の著述、および写本等からなる文書群で、大和国の歴史を考える上で重要な史料です。現在 78 冊が当館に寄託されており、散逸したとされる 1 冊も写本が春日大社に伝わっています。

主な編著をおこなった玉井定時(たまい さだとき)は、はじめ郡山藩に仕えた後、与力であった父に代わって奈良奉行所へ出仕し、宝永 4(1707)年に子の定勝に家督を譲って隠居するまで与力を務めました。定時は、職務として地誌や大和国内の寺社の由緒、触事の集成、奈良奉行所の職務記録等の記録類をまとめ、「和州志」と名付けて全 30 巻で成立させました。隠居後も伝聞や文献の収集と「和州志」の増補を続け、これらの文書群が近世後期に整理され、現在「庁中漫録」という名前で呼称されています。

本年度発行の第七巻には、「庁中漫録」の 17 巻から 21 巻を収録しています。内容は、領主別の村の石高一覧、郡別の村の石高一覧、国人衆や江戸時代以前の大和国の出来事をまとめたもの、隣国の村までルートごとに経路する村々の道程の一覧、奈良町の各町の紹介、となっています。奈良史料叢書はすべて当館で見いただけます。(野口 泰宏)



庁中漫録の原本